

キッツグループ長期経営ビジョン
Beyond New Heights 2030
「流れ」を変える

株式会社キッツ

I. 企業理念・経営ビジョン

キッツ宣言 (企業理念)

**わたしたちは
流体制御技術と材料開発で社会インフラを支え
ゆたかな地球環境と持続可能な未来を創造していきます**

We strive to build a robust global environment and sustainable future by supporting societal infrastructure through our advancements in fluid control technologies and materials.

昨年迎えた創業70周年の節目を機に、企業としての存在意義と社会に対する貢献について議論を重ね、長期経営ビジョンを公表するにあたり、企業理念である「キッツ宣言」を改訂することといたしました。

私たちは、ゆたかな地球環境と持続可能な未来を創造することが、社会に対して果たすべき使命であると認識し、創業以来培ってきた流体制御技術と材料開発をさらに磨き上げ、社会インフラを支え続けていくという強い思いを込めています。

長期経営ビジョン

Beyond New Heights 2030 「流れ」を変える

ありたい姿

テクノロジー/ソリューション

「流す」「止める」「絞る」のあらゆるニーズに、オンリーワンの技術とユーザーの期待を超える提案力で挑戦し続ける

コアビジネス/成長ビジネス

情報化社会、サステナブル社会に向けて、コアビジネスの基盤を強化し、同時に成長ビジネスへの参入を、リスクを恐れず加速させる

事業を通じた環境保全

環境にやさしい商品・材料の開発や製造プロセスを追求し、持続可能な未来に貢献することにより、社会から信頼される

多様な人財の活躍

性別、年齢、国籍、文化等を超えて、社員一人ひとりがプロフェッショナルとして、最高のパフォーマンスでいきいきと働いている

キッツグループ 企業理念体系

キッツ宣言
(企業理念)

わたしたちは
流体制御技術と材料開発で社会インフラを支え
ゆたかな地球環境と持続可能な未来を創造していきます

長期経営ビジョン

Beyond New Heights 2030
「流れ」を変える

行動指針

Do it KITZ Way

- Do it True (誠実・真実)
- Do it Now (スピード・タイムリー)
- Do it New (創造力・チャレンジ)

Ⅱ. 目指す経営構造と定量目標

経営構造

ビジネス領域



ビジネスモデル

コア事業を基盤とした成長領域への拡張

建築設備

石油・一般化学



半導体

機能性化学

水素

新規事業

成長と投資収益性の両利き経営

成長(グロース)

- ・市場分野軸
- ・エリア軸
- ・製品軸



投資収益性(リターン)

- ・メンテナンスサービス
- ・キーアカウントマーケティング
- ・製品ライフサイクル管理

FY2030定量目標

平均売上高成長率

4%以上

(FY2030 連結売上高 2000億円規模)

ROE

10%以上

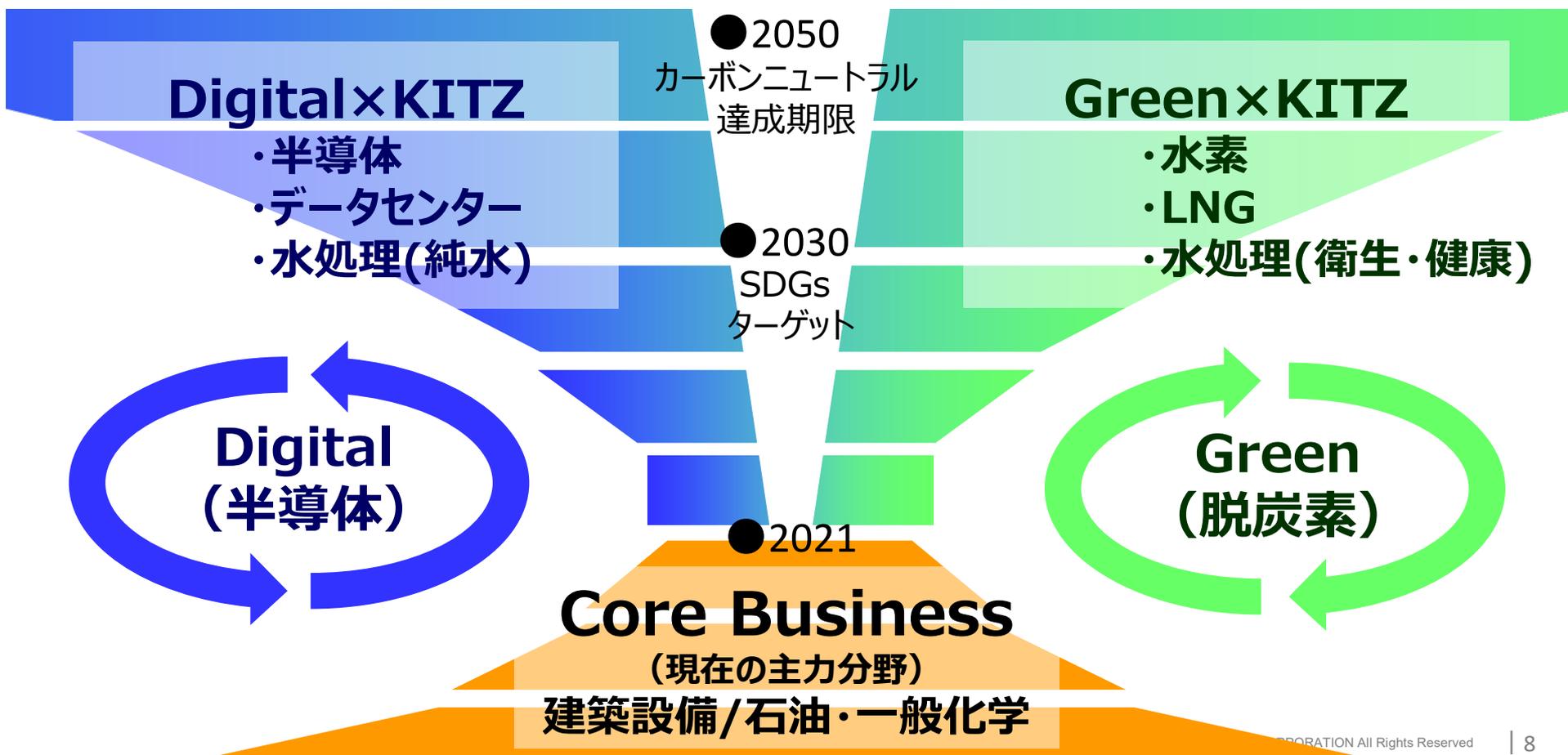
(FY2030 連結当期純利益 100億円規模)

Ⅲ. 2030年に目指す姿(ビジネス領域のシフト)

2030年に目指す姿(ビジネス領域のシフト)

コア事業と成長分野で収益をあげられる両利きの経営を目指す

- デジタル化・脱炭素化を背景とした成長分野・地域への積極的リソース投入
- 投下資本収益性(ROIC)を重視した事業展開

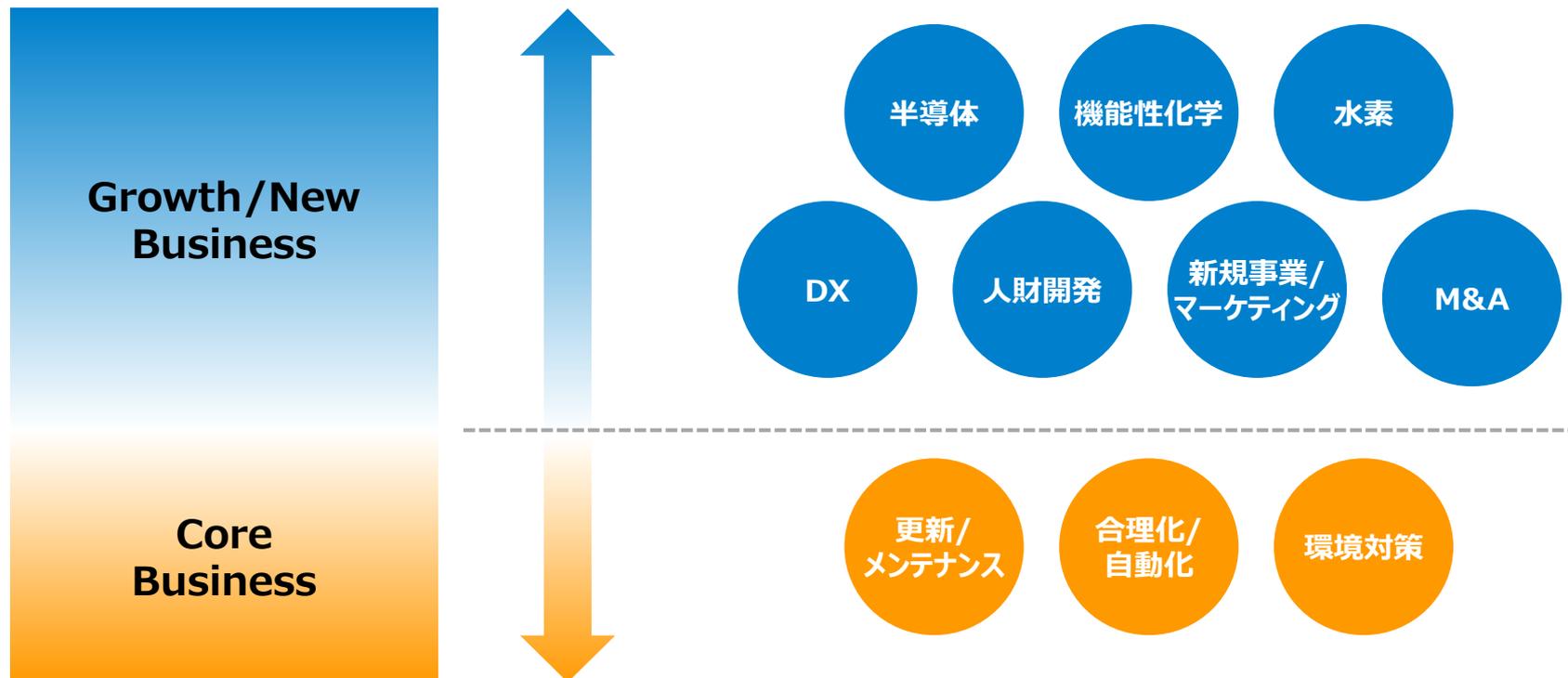


2030年に目指す姿(ビジネス領域のシフト) 長期戦略投資方針

■ 総投資枠(9か年)800億円

- うち約6割を成長・新規分野への戦略投資枠(DX・M&A含む)に設定
- コア事業からのビジネスシフトに向け、経営リソースを重点的に割り当てる

総投資枠800億円(9年累計)



IV. サステナビリティ基本方針

サステナビリティ基本方針

キッツグループは、企業理念である「キッツ宣言」の実現に向けて、

1. 事業を通じた社会課題の解決に取り組み、企業価値と社会価値の向上を図る
2. 効率的で、公正かつ透明性の高い企業経営を実現し、社会から信頼される企業となる
3. あらゆるステークホルダーとの対話により、強固な信頼関係を構築する

サステナビリティスローガン

つくる未来 のこす未来

**Create the Future /
Preserve the Future**

つくる未来

キッツグループは、「誠実」に行動し、そして「変革」を恐れず
チャレンジし、地球と人にやさしい循環型社会の実現を目指して、
新しい未来を創造します。

のこす未来

キッツグループは、限りある地球資源と人の暮らしを守り続け、
私たちが次の世代にのこすことのできる社会の実現に努めます。

2030年に向けた長期戦略において、サステナビリティ経営が経営戦略の中核に据えられる

キッツ宣言 （企業理念）

わたしたちは
流体制御技術と材料開発で社会インフラを支え
ゆたかな地球環境と持続可能な未来を創造して
いきます

長期経営ビジョン

Beyond New Heights
2030
「流れ」を変える

行動指針

Do it KITZ Way

2030年にありたい姿

テクノロジー/ソリューション

コアビジネス/成長ビジネス

事業を通じた環境保全

多様な人財の活躍

サステナビリティ基本方針

（サステナビリティ（E・S・G）に関する
中長期の目標/計画/運用の拠り所）

サステナビリティ経営重点テーマ

Environment

- ・カーボンニュートラル/資源循環
- ・イノベーション

Social

- ・社員エンゲージメントの
持続的向上
- ・持続可能なサプライチェーン

Governance

- ・コーポレート・ガバナンス
- ・リスクマネジメント
- ・コンプライアンス

サステナビリティ経営重点テーマ

具体的取り組み

E

カーボンニュートラル/資源循環

- 「トリプルゼロ」実現に向けたKPI目標展開 (CO2削減率/水資源排出量/廃棄物埋立処分率)

イノベーション

- 脱炭素/水素社会を支える流体制御技術の開発
- 環境負荷低減に貢献する材料の開発

S

社員エンゲージメントの
持続的向上

- 企業理念/ビジョンの浸透化
- D&Iの推進とコラボレーション文化の醸成
- グローバル経営を支える人財育成と制度改革
- 社員がいきいきと働く職場環境の実現

持続可能なサプライチェーン
の構築

- CSR調達の重視
- 安定的な原材料や部品調達システムの構築

G

コーポレート・ガバナンス
リスクマネジメント
コンプライアンス

- 経営意思決定の更なる透明性向上
- リスク低減と機会創出双方に着目したリスクマネジメント
- サステナビリティ経営に資するグローバル・コンプライアンス

トリプルゼロ（「CO2ゼロ」「環境負荷ゼロ」「リスクゼロ」）の取り組みをすすめ、2050年度、持続可能な循環型社会の実現を目指す

環境長期ビジョン 3 ZERO トリプルゼロ

①CO2ゼロ

脱炭素の推進

2030年 **▲90%***
2050年 **▲100%**
カーボンニュートラル

※2013年比
※対象：国内グループ

②環境負荷ゼロ

資源循環の推進

-ウォーターニュートラル
節水、循環、涵養の推進

-ゼロエミッション
3Rの推進
鋳物砂再生利用の推進
梱包資材の配慮
ペーパーレス化の推進
グリーン調達

-汚染防止
脱VOC（塗料、塩素系溶剤）
※対象：キッツグループ

③リスクゼロ

3防止（公害・労災・火災）

-環境事故ゼロ
環境汚染：0件（排水、VOCなど）

-労働災害ゼロ
重大事故：0件
休業度数率：0.10以下

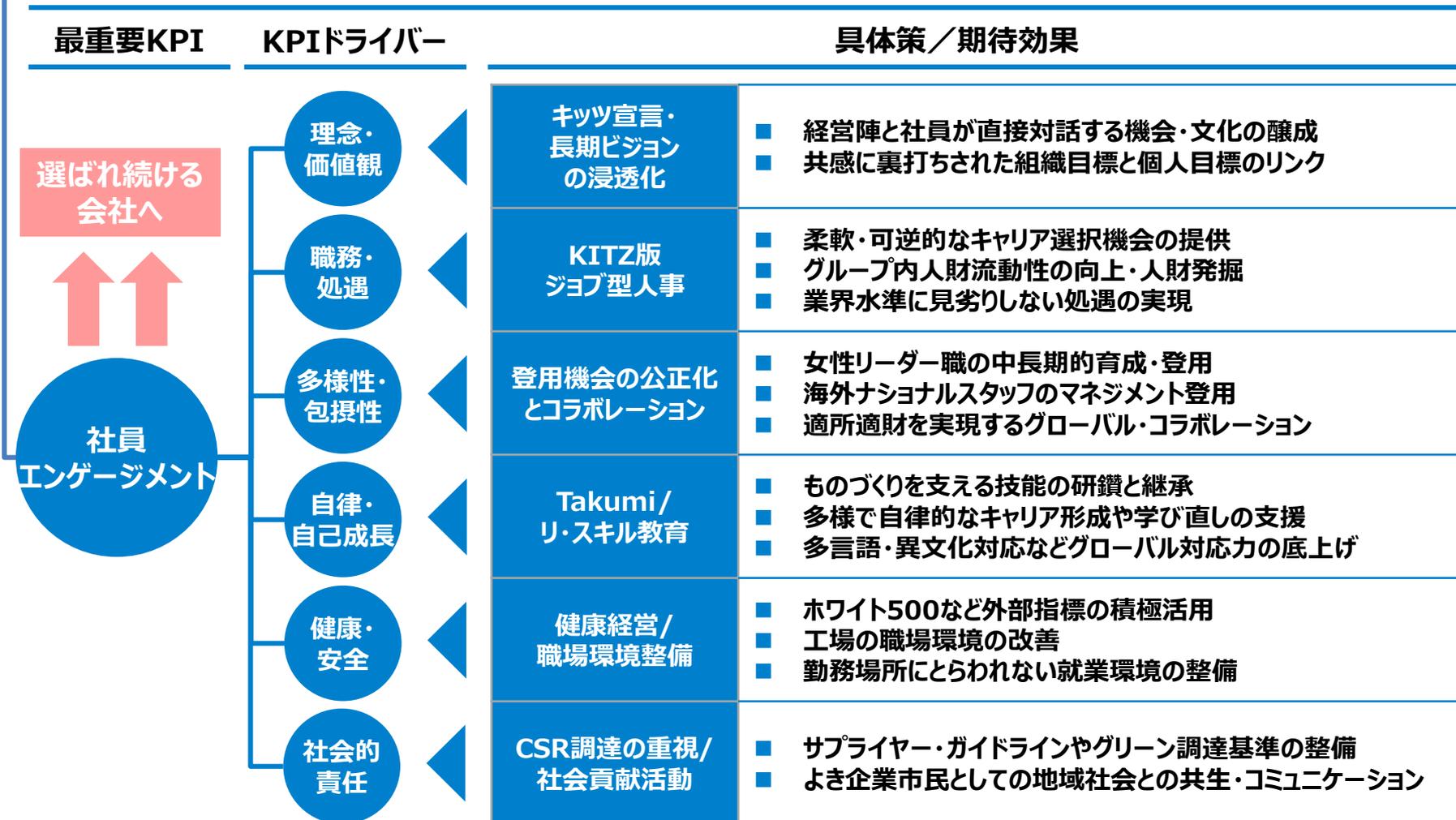
-火災事故ゼロ
火災、爆発事故：0件

※対象：キッツグループ

| 主要KPI | 2030年度目標（※2013年度比、国内グループ） |
|----------|-----------------------------|
| CO2削減率 | ▲90% ※海外を含むキッツグループでは▲50% |
| 廃棄物埋立処分率 | 1.0%未満 |
| 水資源排出量 | ▲100% |

ESGの取り組み 社会(S)

目指す姿： 性別・年齢・国籍・文化等を超えて、社員一人ひとりがプロフェッショナルとして、
多様な人財の活躍 最高のパフォーマンスでいきいきと働いている



コーポレート・ガバナンス

■ 経営意思決定の更なる透明性向上

- 資本コストの評価軸を取り入れたポートフォリオ経営の強化
- サステナビリティ委員会設置によるモニタリング機能の充実と実行体制の強化

リスクマネジメント

■ リスク低減と機会創出双方に着目したリスクマネジメント

- グループ全社におけるリスクの特定・評価・対策実施・検証と継続的なアップデート
- 社会要請・市場変化に係るリスクから発想を転じた、新たな商機の発掘

コンプライアンス

■ サステナビリティ経営に資するグローバル・コンプライアンス

- 社会要請に合致したコンプライアンス・プログラムへの移行（人権・労働・環境・腐敗防止などへの対応強化）
- 社員一人ひとりが自分ごととして取り組む自律的なコンプライアンスのグループ全社への浸透

V. DXに向けて **(Business Transformation by Digitalization)**

DXに向けた変革シナリオ

業務革新活動との連携によるビジネス変革 (BX)

経営ビジョン実現に向け、既存事業の徹底した効率化と経営リソースの可視化・流動化を図り、顧客志向の機動的な組織へと転換することを目指す

